

日本アクチュアリー会 第64回 IT 研究大会 プログラム

1月31日版

2025年2月7日(金)



公益社団法人 日本アクチュアリー会
Think the Future, Manage the Risk

目次

開会式	1
IT 関係優秀論文の表彰	1
ICA2026 東京大会のご紹介	1
IT 研究会活動報告	2
特別講演	5
技術グループによる展示	6
晩餐会	7
会場案内	7
諸連絡	7

2月7日(金) 於 大成大手町ビル(旧大手町野村ビル) 17階 大樹生命ホール

○**午前の部 (10:00 ~ 12:20)**

司会

矢野 純平 君 (大同生命)

開会式

開会の辞

今野 英史 君 (IT 委員長)

挨拶

上田 泰史 君 (日本アクチュアリー会 理事長)

IT 関係優秀論文の表彰

上田 泰史 君 (日本アクチュアリー会 理事長)

ICA2026 東京大会のご紹介

谷川 正磨 君 (ICA2026 広報部会 事務局)

IT 研究会活動報告

10:50 ~ 11:30

IT 研究会第 1 グループ

1. 保険会社における生成 AI の活用

0.5 単位<IT>

司会

神山 祐子 君 (太陽生命) 勝海 宏 君 (プルデンシャル生命)

研究メンバー

塚本 高史 君 (朝日生命) 村田 知也 君 (住友生命)
藤川 諒太 君 (住友生命) 白幡 駿介 君 (富国生命)
中西 弘貴 君 (大同生命) 久下 直椰 君 (太陽生命)
高見 豪 君 (アフラック生命) 佐野 さゆり 君 (あいおいニッセイ同和損害)
立川 友脩 君 (全共連) 小野寺 美玖 君 (第一生命テクノクロス)
後藤 浩文 君 (全共連) 関 翼 君 (MS&AD システムズ)
鈴木 翔大 君 (全共連)

■要旨

生成 AI の急速な発展は私たちの生活に大きな変化をもたらしており、様々な業界で革新的なサービスが生み出されている。保険業界においても、生成 AI 導入による業務効率化や顧客体験向上など、多くの可能性が期待されている。

我々第 1 グループでは、生成 AI 導入におけるセキュリティやコストといった課題、他業界を含めた先行事例も踏まえつつ、生成 AI の具体的な活用方法について研究を進めてきた。保険業界における生成 AI の具体的なユースケースを提言し、将来、生成 AI がさらに進化した際の保険業界への影響についても考察する。

11:40 ~ 12:20

IT 研究会第 2 グループ

2. DX をはじめとする IT 投資コストの評価に関する研究

0.5 単位<IT>

司会

森谷 雅史 君 (三井住友信託) 塩澤 北斗 君 (第一生命テクノクロス)

研究メンバー

小川 智史 君 (大樹生命) 高田 宗太郎 君 (富国生命)
的場 光一 君 (りそな銀行) 志村 優 君 (全共連)

■要旨

昨今、DX (デジタルトランスフォーメーション) の取組が各企業で進められており、デジタル戦略の実現に向けて、レガシーシステムからの脱却や、デジタルと企業価値を融合した新たなサービスの創出など、IT 投資が盛んに行われている。

我々第 2 グループでは、様々な DX 戦略を企業が進めるにあたって、投じた投資に対する評価手法や項目について研究を行った。最新の DX 動向や、各企業からのアンケート情報をもとに、DX に取り組む企業がより良い IT 投資や DX による恩恵が得られるよう、情報や評価手法について提言する。

○午後の部（13:20 ～ 17:30）

IT 研究会活動報告

13:20 ～ 14:00

IT 研究会第3グループ

3. 保険システムへの新技術の適用

0.5 単位<IT>

司会

堀川 文弘 君（富国生命） 渡井 和昭 君（ニッセイ情報）

研究メンバー

野崎 裕也 君（明治安田生命） 竹田 里緒 君（富国生命）
栗野 勇吾 君（朝日生命） 大川 唯斗 君（富国生命）
林 鉄馬 君（住友生命） 宮村 暢紘 君（大同生命）
西江 明日翔 君（住友生命） 沈 沁阳 君（EYストラテジ・アンド・コンサルティング）

■要旨

保険システムは多種多様な保険商品に対応するために、各社固有のシステムを構築しているケースが多く見られる。しかし近年では保険業界にも AI 等の新技術が広く活用されていくとともに、専門性の高いサービス提供事業者との協業開発事例も増加している。ただし必ずしもサービス提供事業者との協業が、より良い保険商品、サービスの開発につながるとは限らない。

我々第3グループは保険業界で協業開発事例が増えてきている一方で、自社開発を採用するかサービス提供事業者との協業開発を採用するかの判断基準が明確になっていないことを課題と捉え、インシュアテック技術・サービスの事例を踏まえたうえで解決策を提言する。

14:10 ～ 14:50

IT 研究会第4グループ

4. 保険会社におけるクラウドネイティブなアプリケーションの研究

0.5 単位<IT>

司会

長瀬 正憲 君（トーマツ） 松岡 靖之 君（三菱 UFJ 信託）

研究メンバー

本山 智暉 君（明治安田生命） 飯田 信忠 君（明治安田生命）
新井 るり子 君（富国生命） 深口 駿 君（太陽生命）
山田 綾香 君（ニッセイ情報） 星 秀人 君（ミリマン・インク）
中里 貴央 君（日本ウィルテックソリューション）

■要旨

我々第4グループでは「クラウドネイティブ技術を用いたアプリケーション開発」によるレガシーシステムからの脱却を提言する。レガシーシステムの刷新は、保険会社の新商品開発や、複雑化するリスクへの対応において、システム開発の柔軟性、コスト、スピードにおける優位性の確保に直結する。また、レガシーシステムの保持は、将来的なビジネスリスクや制約につながる。

一方で、レガシーシステムの刷新には様々な課題がある。保険システムには高度なリスク分析と長期の保障期間を担保する責任があり、一般的なフレームワークだけでは現実的な移行戦略を策定するのは困難である。そこで、保険会社特有の事情並びにクラウドネイティブな最新技術を踏まえ、保険会社の目指すべき持続可能な次世代システムを模索した。その成果を発表する。

5. 100 年先でも大丈夫！ ～保険業界を支える IT 基盤戦略～

0.5 単位<IT>

司会

矢野 純平 君 (大同生命) 福光 純子 君 (ニッセイ情報)

研究メンバー

鈴木 康紘 君 (住友生命) 仲西 風人 君 (住友生命)
神宮 啓祐 君 (大同生命) 須谷 真衣 君 (大同生命)

■ 要旨

みなさまは、未来の保険業界はどうなっていると思いますか？

そして、それを支える次世代の IT 基盤はどうあるべきだと考えますか？

人生 100 年時代を迎え、保険業界では長期的かつ安定的なサービス提供がますます重要視されています。一方で、少子高齢化や DX 推進といった時代背景を受けて、より迅速な変化への対応も求められています。

保険業界のシステムもまた、長期的な安定運用を求められるため、比較的古くなった技術やシステムを維持する傾向があります。そのため、新技術の導入は遅れがちでしたが、業界の動きに合わせて、柔軟な変化への対応もより強く求められるようになりました。

我々第 5 グループでは、前述の課題を踏まえ、未来に向けた持続可能な成長を支えるために「保険業界の発展を促進する次世代 IT 基盤戦略」を提案します。

司会

高橋 亮 君 (全共連)

「－保険業界における効率化－ AI 活用の課題と可能性」

高 盛華 氏 (PwC コンサルティング合同会社 保険インダストリー事業部 上席執行役員パートナー)

■ 要旨

生成 AI は保険業界においてコミュニケーションの効率化、営業活動等の形式知化、少量多品種業務の効率化、新人教育の支援など、多岐にわたる分野で大きな期待が寄せられています。しかし、保険業界は生成 AI の活用が進まない現状に苦しんでいます。理由として、デジタルスキルの不足、国内外当局のガイドラインの曖昧さ、社員による活用を後押しする人事評価項目の欠如等が挙げられます。本講演では、生成 AI の特性を理解し、実務レベルでの活用を推進するために必要な社内機能やスキルについて具体的に解説します。

■ 講師プロフィール

高 盛華 氏

PwC コンサルティング合同会社における、保険業界向けコンサルティングサービスおよびデータアナリティクスサービスの統括責任者。保険・銀行・証券・ノンバンク等の多くの金融機関において、データ・AI 利活用の戦略立案、実行、ガバナンス構築支援を多数経験。

米国ニューヨーク駐在中は、欧米系銀行におけるデータ戦略・データリスクガバナンスの推進を担う。

国内外の金融機関におけるデータ・AI 利活用推進の観点から多くの支援実績を有し、アーキテクチャ・プロセス・人材育成強化等の多面的な観点からデータ・AI の自律的な利活用促進に貢献。

技術グループによる展示

2月7日（金） 9:30 ～ 16:00 ブース展示 於 大手町野村ビル 17階 大樹生命ホール

「生成 AI IBM watsonx 活用による業務変革と未来の展望」

日本 IBM 株式会社

■内容

テクノロジーの進化とともに、ビジネスの現場では新たな価値創出の手段として生成 AI の活用が急速に広がっています。

生成 AI は、データから新しいコンテンツを創出したり、複雑な問題を解決したりする力を持ち、企業の競争力を高める重要なツールとなりつつあります。

IBM では、生成 AI 製品である IBM watsonx を駆使し、業界に革新をもたらすソリューションを提供しています。今回の IBM ブースでは、IBM watsonx がどのように業務の効率化、顧客体験の向上、新たなビジネスチャンスの創出に寄与するのか、その具体的な活用例をご紹介します。

AI 技術の未来を共に探求し、ビジネスの可能性を広げるために、ぜひ IBM ブースへお立ち寄りください。

「JP1×生成 AI による IT システム障害対処の高度化のご紹介」

株式会社日立製作所

■内容

日立は従来より、JP1 を活用したシステムの安定運用を目指してきました。

今後さらなる安定運用に向け、IT 運用者は生成 AI をアシスタントとして利用することで、発生した障害に対応した運用マニュアルなどのナレッジを対話形式でシームレスに参照でき、迅速にトラブルシューティングを進めることが可能になります。

検知したエラーに関する質問が自動的に入力されるため、障害対応の初動を早めることができ、システム復旧までの時間短縮が可能となります。

今回の日立ブースでは、活用ユースケースに応じてデモンストレーションを交えてご紹介いたします。

ぜひ日立ブースにお立ち寄りください。

「金融・保険ビジネスを変革する AWS クラウド/生成 AI 活用例」

アマゾンウェブサービスジャパン合同会社

■内容

金融業務・保険業務に焦点を当てた AWS クラウド/生成 AI の活用例、及び金融・保険システムを支えるレジリエンスを実現するための具体施策についてデモを含めた展示を行います。

金融・保険業務における生成 AI 活用のユースケース、AWS のクラウドコンタクトセンター Amazon connect と生成 AI の組み合わせによる顧客接点強化、AWS クラウドでのレジリエンス高度化をデモによりご紹介いたします。

また金融・保険領域におけるお客様事例もご用意しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

晩餐会

18:00 ~ 19:30

於 アーバンネット大手町ビル B1 DAY・NITE (デイ・ナイト) 大手町店

司会

森谷 雅史 君 (三井住友信託)

会場案内

2月7日(金)

大成大手町ビル(旧大手町野村ビル)17階 大樹生命ホール

千代田区大手町2-1-1

TEL 03-6831-8000

2月7日(金)(晩餐会)

アーバンネット大手町ビル B1 DAY・NITE (デイ・ナイト) 大手町店

千代田区大手町2-2-2

TEL 03-5255-1414

諸連絡

○公式 CPD 単位について

- 継続教育要綱に基づき、IT 研究会活動報告・特別公演の聴講は、正会員の継続教育の対象です。
- プログラムにおける ○○単位<○○> は、公式 CPD 単位数および分野を表します。

○正会員の出席確認について

- 正会員を対象に当日会場で CPD カードによる出席確認を行います。
- 「午前の部」「午後の部」それぞれで出席確認を行います。
- 途中からご来場される方は、ご来場時に出席確認を行いますので、早めのご来場をお願いいたします。

○アンケートについて

- 大会終了後、以下 QR コードからアンケートにご協力をお願いします。

